



りっか  
立夏（5日）… 初夏の風を受けてこいのぼりが泳ぎます …

5月5日はこどもの日です。子どもたちの健やかな成長を願い 園庭にこいのぼりが泳ぎます。伸び上がって見上げる子どもたちは、まさに成長する存在です。園庭のあちこちで、草花の生長の勢いを実感する季節を迎えています。いつも4月の誕生会では、園庭で見付けたペンペン草（ナズナ）やツツジを紹介しています。小さい頃に、ペンペン草の種の柄の部分の部分を少しだけ剥がして「でんでん太鼓」のようにクルクル回して遊んだり、ツツジの花の蜜を吸ったりした思い出はありますか？

## < 蚯蚓出 みみず いずる（5月10日～14日） >

立夏の次候は「蚯蚓出」です。ミミズやダンゴムシなどは土壌生物と言われる、枯れ葉などを食べて栄養豊かな土を作ってくれている大事な存在です。虫の死骸をアリが小さくして巣に運ぶ様子も見たこともあるでしょう。私たちが意識して見えていないだけで、身近な環境を掃除したり土を豊かにしたりする仕事を小さな生き物たちがしてくれているのです。生態系の一番底辺のところ、人知れず働いてくれているこのような生き物がいてくれるからこそ、自然の営みが回っているのです。



## < 過ごしやすい環境はそれぞれ >

教職員の間で、青南幼稚園にダンゴムシがいないことがずっと話題になっていました。しかし、裏庭の落の下に、カエルやダンゴムシがちゃんといました。落の下は、建物と大きな葉っぱの下で一日中日陰になる場所です。逆に、青南幼稚園の園庭の日当たりの良さを証明する事実だとも言えます。お日様を求めて茎を伸ばしていく花がある一方、湿った場所でないと生きていけない生き物もいて、生物の多様性を実感します。そしてこれは、人も同じではないでしょうか。



塩を振って板ずりをして、お湯で茹でてアクを抜き…

GWに、ダンゴムシたちに住処を提供している「落」を使って食育の教材研究をしてみました。昔、田舎では食べていましたが、自分で作ったのは初めてです。料理本やインターネットで調べての試行でした。できたてよりも、1～2日置いてからの方が、味が馴染んでおいしくいただくことができました。ほろ苦い大人の味です。



筋を取って、出汁をとり…、手間ひまがかかることを実感し、ご馳走をいただく有り難みを再確認することができました。自然に感謝！